

# みなとっふ

地域の魅力を地元から発信

Takanawa Community News Magazine

## 高輪地区情報紙

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

2022年7月

Vol.46

発行：高輪地区総合支所 協働推進課

編集：みなとっふ編集室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



## 夏来る

もくもくと湧き上がる雲

ふりそそぐ強い日射し

林立する高層マンションの間に

点在する緑が涼しい海風を呼ぶ



白金、高輪方面を望む (写真/松島 文/安藤)

## CONTENTS

P2 松岡美術館をたずねて  
「西町つなぐ児童遊園」ができました

P3 上皇・上皇后両陛下の高輪での2年間

P4/5 地域のあしあと  
三田上水から三田用水へ

P6 この街にこの人あり  
わたなべよしのぶ  
渡邊義信さん(発明家)

P7 大使館訪問 アイスランド共和国  
(ステファン・ホイクル・ヨハネソン大使)

P8 区からのお知らせ





リニューアルオープン

# 松岡美術館をたずねて

閑静な白金台の住宅街にある「松岡美術館」は、大正から昭和初期に貿易で活躍し財を成した実業家、松岡清次郎氏による私立美術館です。清次郎氏はとにかく「美しいもの」が好きで、20代半ばより東京美術倶楽部にも出入りをし、次第に海外のオークションで美術品を集めるようになったといいます。コレクターとして日本よりも欧米でその名が有名であるゆえんです。

コレクションは、特に有名なガンダーラ仏教彫刻をはじめ、中国陶磁器、日本絵画、古代から現代の彫刻まで多岐にわたりますが、一貫して清次郎氏の卓越した審美眼を通して厳選されたものばかり、約2,400点に及びます。

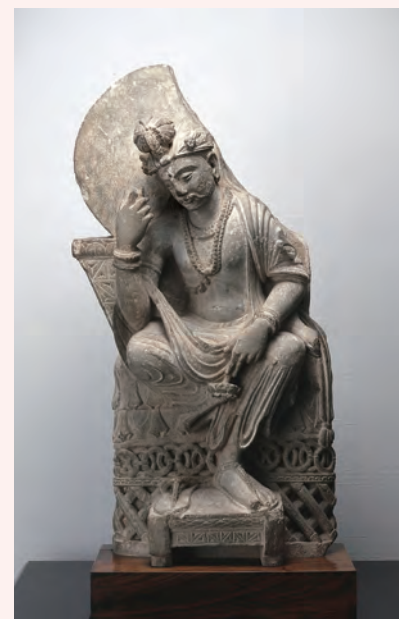
今年1月、所蔵する美術品の状態調査と、よりお客様が観やすくなるようにと照明と空調の大規模な改修工事を終えたばかりです。館内の内装は、あえて以前のままにされたそうですが、一段と明るく広々とした印象になりました。

令和4(2022)年の企画展はあらゆる出会いを大切にしたいと「めぐりあうものたち」というテーマで、3回展示内容を替える予定です。私立美術館としての信条と松岡清次郎氏の意志を継ぎ、毎回すべての展示品はコレクションの中からのみ選ばれています。

散歩の途中でふらりと立ち寄り、自分の好きな作品とゆっくりと対話する、そのような豊かな時間を過ごすには「松岡美術館」はぴったりです。



今後はもっと地域の方々や若い方々にも親しんでいただきたいことから、高校生までは入場無料に料金改定しました



コレクションの中でも有名なガンダーラの仏教彫刻「菩薩半跏思惟像」(提供:松岡美術館)



開放的な1階ロビーには、西洋現代彫刻、古代ギリシャ・ローマ彫刻が展示されている



古代オリエント美術の展示室にある古代エジプトの「彩色木棺」は、今もなお色が鮮やか

(担当/澁谷、松島、滝川)

## 「西町つなぐ児童遊園」ができました

高輪三丁目に新しい港区立の児童遊園ができました。「西町(にしまち)つなぐ児童遊園」の名称で、面積は452平方メートルの規模を確保し、敷地内に豊かな自然を再現しただけでなく、防災機能も備えた都市型公園です。静かな環境のなかで小さな子どもから高齢者までゆったりと寛げるように配慮されています。

この児童遊園は地元の町会や近隣の保育園の職員、児童の保護者などがワークショップ形式で計画に参加し、つくられました。「西町」と名付けられたのは、もともこの地が「芝二本榎西町」で、現在も町会など地元団体の多くが西町の呼称を残していることから「西町」のつく名称としました。また「つなぐ児童遊園」の呼称は、人と人をつなぐ、心と心をつなぐという期待が込められています。園内の設備では中央部を芝生で覆い、園を取り囲む形で多様な植栽

を行ったのも特徴となっています。背の高い樹木7種、中程度の高さの樹木14種を配置しています。カクレミノ、シャクナゲ、オタフクナンテンなどすべてが説明板付きで植えられています。園内には真夏に冷気を供給するため、ミスト(霧)を発生する施設が2か所に設けられ、暑さ対策にも配慮されています。

もう一つの特徴が防災。消防資器材収納庫が西町自治会防災部によって運用されているだけでなく、通常は椅子として利用されるが、非常時にはかまどとして使うことができる「かまどスツール」や非常用のマンホールトイレなども備えています。今年の夏は夕涼みの場所が一つ増えたといえそうです。



多様な植栽で豊かな自然を再現し、防災機能も備えた都市型公園



(担当/阿部、伊関、佐々木)



# 上皇・上皇后両陛下の高輪での2年間

上皇陛下・上皇后陛下は令和2(2020)年3月31日から高輪仙洞仮御所にお住まいになり、令和4(2022)年4月12日に葉山にお移りになりました。高輪にいらしゃったのは、ちょうど2年になります。今年の3月末、近くをお散歩され旧細川邸の椎の木をご覧になりました。

上皇陛下・上皇后陛下が高輪に来られるのを地域の方々は歓迎していましたが、あいにくコロナ禍で地域の交流の機会は少なかったです。その中で、地域の方々との交流のいくつかをご紹介します。

## ●愛星保育園の職員・園児との交流

愛星保育園園長の村岡恵美子さんから話をうかがいました。

毎年、仙洞仮御所の周辺で保育士と園児たちでどんぐりを拾っていましたが、令和2(2020)年11月はどんぐりが全く落ちていなかったのです。仙洞仮御所内の警備の方から仮御所内にどんぐりは落ちていないので、保育士一人なら入ってよいですよと言われ、どんぐりを拾いました。お礼の意味からお手紙と園児たちのどんぐりを貼った絵をお渡ししました。

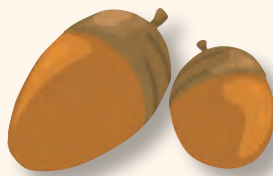
その後も、令和3(2021)年の10月20日、上皇后陛下のお誕生日にお手紙と園児たちが書いたお誕生日カードと手作りの花かごを、12月23日には上皇陛下が研究されているハゼを描いたお誕生日カードをお渡ししました。

高輪から葉山にお移りになる日には、園児45名でお見送りにうかがいました。

沿道でのご挨拶と思っておりましたが、ご門前の広場に



両陛下が手を振ってご挨拶  
(提供:宮内庁)



愛星保育園園児など、地域住民が出発を見送る  
(提供:宮内庁)

通されびっくりしました。上皇陛下・上皇后陛下が車から身を乗り出すように、子ども達一人一人の顔を見て手を振ってくださっていたので感激しました。

## ●高松桜まつりと東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部の指導教員畠田貴生先生にお話をうかがいました。

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部はマーチングコンテスト全国大会で毎年金賞か銀賞いずれかを受賞しています。畠田先生は29年間吹奏楽部を指導されており、高校では化学を教えられています。

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部部員100名は、令和4(2022)年4月2日、6町会合同の「高松桜まつり」でマーチングを行い、仙洞仮御所横で上皇陛下・上皇后陛下に向かい、アーセナル行進曲を演奏しました。

参加した高校生は、上皇陛下・上皇后陛下に演奏をお届けすることができ、とても光栄で感激しましたと感想を話していました。(宮内庁職員からのお話では、上皇陛下・上皇后陛下は演奏をお聞きになり、大変喜ばれたとのことでした)



高松中学校内で演奏  
(提供:ダイナックス都市環境研究所)

仙洞仮御所横でマーチング  
左端が畠田先生  
(提供:ダイナックス都市環境研究所)

## ●地域住民と高輪地区総合支所職員による仙洞仮御所周辺の清掃活動

令和2(2020)年から令和4(2022)年の秋・冬に複数回、地域にお住まいの方々と高輪地区総合支所職員で、仙洞仮御所周辺の落ち葉の清掃活動を行い、住民のつながりと愛着心を深めることになりました。



地域住民が仙洞仮御所の周辺や高松中学校内を清掃

### 【主な参加団体】

高輪子ども中高生プラザ、白金保育園、伊血子坂保育園、松ヶ丘会、高輪一丁目アパート自治会、高輪一丁目君友会、伊血子睦会、高輪台町会、高輪二本榎町会、高輪地区生活安全・環境美化協議会(AKT78)、高輪みどりてつながるプロジェクト、民生委員・児童委員、宮内庁、港区立高松中学校、東海大学付属高輪台高等学校、東海大学、高輪地区総合支所



## 地域のあしあと

# 三田上水から 三田用水へ

江戸時代の人々は、生きていくために必要な水を、どのようにして手に入れていたのでしょうか。かつて、高輪地区には、三田上水(後の三田用水)が飲料用に使われ、田畑も潤していました。江戸の給水システムは、多くの人々の努力の積み重ねの結果であり、百万都市江戸を支え、当時のロンドンをも凌ぐと言われたもので、隠れた近代産業遺産ともいわれるものです。

## 三田上水の生い立ち

天正18(1590)年、天下人である豊臣秀吉により、先祖伝来の地から、関東への国替えを命じられた徳川家康が、江戸入府後早速に着手したのが治水工事と飲料水の確保であった。幕府は、神田上水に続き、玉川上水も、わずか7ヶ月間で多大な苦難を乗り越えて完成させた。

江戸の発展に伴い、爆発的に人口が増えた江戸の街は、元々海岸に近い湿地を埋め立てた造成地が多かったため、井戸を掘っても塩分や鉄分の強い水が出るなどして、当初から飲料水の確保に悩まされていた。そのため三田上水を含む江戸六上水が開削された。三田上水は玉川上水を、下北沢村(現在の世田谷区)で分水した水路で、先に開削された「細川上水」と全く同じ方向に通水するものであることから、独自の本式な測量などを省略して、並行するように開削されたのではないかと推測されている。

白金分水は、五代将軍徳川綱吉の白金御殿(麻布御殿)造営の雑水として三田上水から分水された。元禄14(1701)年御殿焼失。その後再建されず。

享保7(1722)年、享保の改革で三田上水を含む四上水が廃止。

### 上水廃絶の理由

- ・上水道の維持に莫大な費用がかかること。
- ・関西より伝わった新たな技術により、深井戸掘削技術が向上し、地下水のくみ上げが容易になったこと。

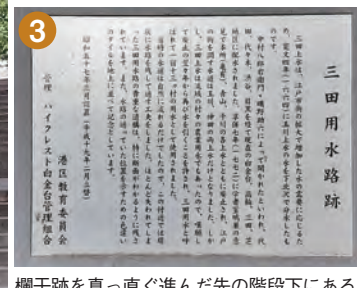
そもそも上水とは、飲料水のことであり、江戸城や大名邸に供給配水した余水を、近隣農民が田畑の灌漑用水として利用していた。

享保7(1722)年の廃止以来、農民の懇請により、三田上水が灌漑用水として払い下げられ、名称も「三田用水」となり、幕府による官営から民営に移管した。細川上水・白金分水も同様である。沿線の村々は農耕地主を組合員とする「三田用水水利組

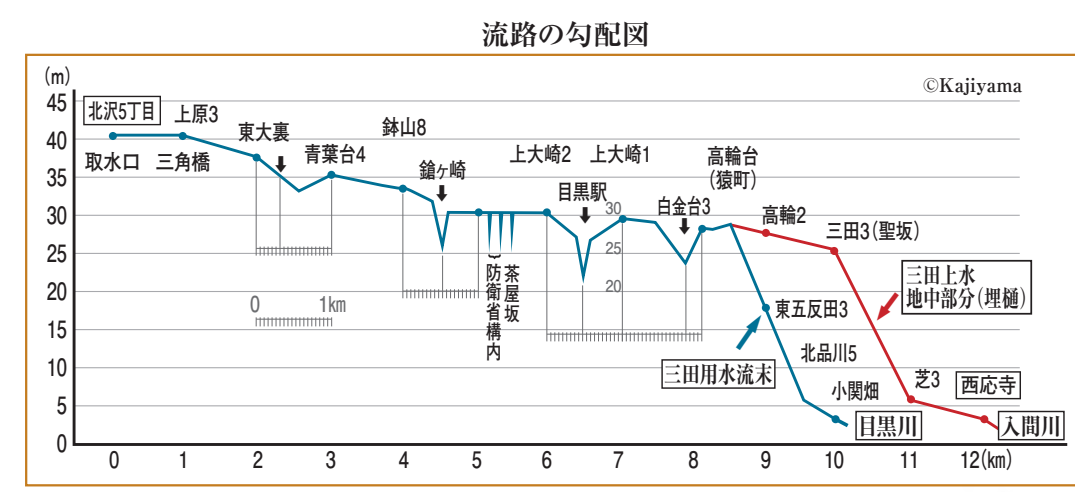
## 貞享上水図 (1684~1688)



1 三田用水に掛かっていた橋の中で唯一残る今里橋欄干の跡



3 欄干跡を真っ直ぐ進んだ先の階段下にある、暗渠ファンの聖地となっている遺構と表示板



出典:三田用水の物語-丘の上を流れたもう一つの川- (http://www17.plala.or.jp/mitayousui2016/)



遺構から地蔵尊に続く水路跡には暗渠(赤いタイル敷きの箇所)が続き、緩やかな坂を進むと水路の上に今里地蔵尊が祀られている

三田用水 年表	
年代	事柄
天正18(1590)年	徳川家康 江戸入府
寛永6(1629)年	神田上水 開削
承応3(1654)年	玉川上水 開削
明暦3(1657)年	細川上水 開削
寛文4(1664)年	三田上水 開削
元禄11(1698)年頃	白金上水 開削
享保7(1722)年	享保の改革で三田上水を含む四上水が廃止される
享保9(1724)年	三田上水を灌漑用水として払い下げられ、三田用水となる
享保17(1732)年頃	分水を用いた水車業が現れる
弘化年中(1844~1848)	高輪の鹿見島藩島津家下屋敷(現:グランドプリンスホテル新高輪)にも分水
明治21(1888)年	日本麦酒醸造会社(現:サッポロビール)が醸造に向け三田用水から取水を開始
明治24(1891)年	水利組合条例の施行に伴い、水利組合が「普通水利組合」として公法人となる
昭和35(1960)年	高輪消防署の申し入れを受け、消火用に使われ始める
昭和49(1974)年	東京都水道局が三田用水の取水口を閉鎖して、通水を停止する
昭和57(1982)年	港区により、白金台3丁目に「道堤遺構」が保存される

## 三田用水のうつり変わり

三田用水は当初、灌漑目的の農業用水として使われていた。享保17(1732)年前後に水車業(人力の作業に代わり、精米製粉を行う)が現れ、明治になると、水車業から徴収する使用料が三田用水水利組合の大きな収入源になった。芝白金地域では、三田用水はもっぱら灌漑用水として使われていたが、費用面では水車業の利益の恩恵を受けていた。

また、日本麦酒醸造会社(現「サッポロビール」)の麦酒工場などに、工業用水としても使われた。

昭和元(1926)年頃には、水田が住宅地となり灌漑用水としての役割は薄れた。

昭和35(1960)年、高輪消防署の申し入れを受け、消火用に使われ始めた。

昭和49(1974)年8月に東京都水道局により取水口が閉鎖され、三田用水は、上水開削以来310年にわたる長い歴史の幕を閉じた。

## 三田用水のあしあと

現在、水路跡の一部は埋め立てられて宅地となり、残りも暗渠(あんきょ=地下に埋設したり、蓋を掛けたりした水路)として塞がれたために、高輪地区内で水路跡を連続して辿れるのは、白金台3丁目にある今里橋欄干跡から今里地蔵尊までの間の短い区間(約250m)だけとなっている。

短い区間ではあるが、人々の生活を支え、工場を動かし、街の発展を支えてきた貴重な産業遺産として後世に繋げたい場所である。

参考文献  
①江戸の上水と三田用水  
三田用水普通水利組合 昭和59年9月30日発行  
②増補港区近代沿革図集 高輪編・三田編 港区教育委員会  
③港区史(近世上)  
④港区の文化財

(担当)伊関、長原、吉田、池井戸、安藤

出典:三田用水普通水利組合(著) 江戸の上水と三田用水(1984年)を元に編集室作成

合)を結成し、用水の管理を行った。三田用水が復活した際、空堀となっていた細川上水と一体化して、芝方面にも水を流し、目黒川への余水吐き(すすいばき)と、品川方面への流路を新たに設けたのではないかと推測されている。

### 細川上水

肥後熊本藩細川家の家史「細川家記」によれば、「細川上水」は明暦3(1657)年、玉川上水の取水口から高輪の藩邸まで飲用として単独で引いた上水である。時の藩主細川越中守綱利(三代日藩主)は、上水建設と同時に邸内に滝や池を造らうと五百両の大金を投じた。当時の細川家にとってこれは相当問題だったようで、国家老が急遽江戸に上がり、主君を諭し、滝はもちろん、立石泉水まで取り壊して帰国したという。また、一説によれば、細川越中守邸の隣は旗本板倉修理の邸地で、細川邸より低いところがあった。そのためひどい雨降りの際は細川邸から上水が溢れ落ちてくる。板倉家は再三細川家に苦情を持ち込んだが、埒があかず、業を煮やした修理は、ある登城の日、同じく登城してきた五代日藩主細川宗孝を殿中で殺傷、自分は切腹を命じられ、家は断絶した。延享4(1747)年8月のことだった。

### 室鳩巢(むろきゅうそう)の 珍説

享保の頃、江戸には火事が頻発していた。巷間には「火事が多いのは上水が普及したからだ。」という噂が流れるようになった。享保の改革のブレーンの一人である室鳩巢は、「地下に縦横に水道が通じており、悉く地脈を断ち、風を拘束する力がなくなっている。それで風はうわつき、火を誘い、遠くまで飛び火する……」と述べ、上水廃絶の建義が採用された結果、四上水は廃止された。

### 流路勾配図について

上水は、自然の高低差を利用して川のように水を流しているため、低地の上水井戸などから水が溢れ出す危険があり、常に適切な排水が必要であった。その役割を大名屋敷の泉水や堀、下水、周辺村々の灌漑用水などが担っていた。三田上水も、谷筋や低地を避けて、武蔵野台地の高い所を選んで掘削され、高輪地域内は、白金台と高輪台の間の尾根筋を、水路の高さを保ちながら流れていた。



# この街にこの人あり

わたなべよしのぶ

渡邊義信さん

## プロフィール

1922年 東京白金に生まれる  
1937年 三田尋常高等小学校卒業  
1938年 白金のバルブ工場就職  
早稲田専門学校(商科)夜学に通う  
1941年 回転する給水栓を發明  
1942~46年 海軍入隊。トラック島等を転戦  
1950年 白金に工場再建  
1982年 リタイア、水墨画を始める  
1996年 水墨画を教える  
2004年 藍綬褒章受章  
2017年 水墨画で日美展入賞  
※日本発明特許学会常任理事  
1937年から特許・実用新案などを含めて60を超える



兵隊に出る前に実用新案をとっていた給水栓の出口が回転する蛇口。現在も高輪台小学校で使用されている



コミュニティ・カフェ高輪 in HUG 講演会にて

## 全力で生き抜く人生100年を語る

—今年の9月6日で100歳になられますね。おめでとうございます。

特に、健康に注意していることは

特に、変わったことはしていません。食事も普通です。大きな病気はしたことはありません。毎日お風呂に入り、その後、冬でも水を浴びます。他には、薬に頼らず、よく寝てよく動いて身体を調えることでしょうか。

—これまで、充実した人生を過ごされていますが、その秘訣は？

いろいろな人との出会いを大切にしています。人との出会いが人生を楽しんでいます。また、どんなに厳しい時でも、全力で取り組み、最善をつくすことです。これは、戦争体験や発明体験から得たものです。

—終戦で復員して、白金に戻ってきた時はどんなでしたか

昭和21(1946)年、無一文でやっと日本に戻った時、白金は焼野原で自宅も工場もあとかたもなかったです。家族とも連絡がつかず、ただ茫然としていました。

焼野原を歩いていると、近所にいた知人に偶然会いました。「おう、渡邊のせがれか」と声をかけられ、父の消息を知ることができました。

—どのようにして、家や工場を再建されたのですか

発明することが大きな力になりました。60を超える特許や実用新案を取得しました。兵隊に出る前だけで、7つの実用新案(物品の形状、構造又は組み合わせに係る考案を登録し権利が保護されたもの)をとりました。給水栓の出口が回転する発明もその一つです(高輪地区情報紙7号掲載)。

戦後、千葉県九十九里に住む戦友に会いに行ったとき、「強い火力があればピンと真っ直ぐなよい煮干しになるのに」という漁民の話からひらめき、強い火力で蒸気を出し、煮干しをつくる機械を思いつきました。海軍で機関兵を務めた経験が役立ったのです。製品をつくと、漁民から私も欲しい私も欲しいと言われ、300台作って売りました。

また、日本は消防設備が遅れていると感じていて、ホースをうまく繋げる器具を考えつき、止水機能付きで速やかにホースを繋ぐバルブコックを作りました。今でも、多くの消防署で使われています。

—水洗便所の普及にも貢献されたのですね

水洗便所は水を流すバルブが大事です。東洋陶器の会社とともに、水洗便所の製作に携わってしま

た。私はバルブの部品を担当し、当時ほとんどなかった水洗便所を東京中に普及すると豪語して製作を始めました。

最初は水槽便所といい、上に水を溜めるタンクがあり、ひもを引っ張ると水が流れて流す仕組みでした。その後、フラッシュ・バルブの仕組みを考え、水を流す水洗便所ができ、日本全国に普及することになりました。

—工場の経営は順調でしたか？

山あり谷ありでなかなか大変でした。信念として、手形で受け取らないことをモットーにしていました。特許や実用新案で新しい製品をつくることで、銀行から信用され、融資を受けることができました。工場の経営以外でもいろいろなことをしました。

福島県郡山市の友達との雑談から、東北六県の温泉用に「水の濾し器」を作ろうということになりました。温泉の水を濾して綺麗に保つ装置です。出来上がった濾し器は温泉地の人々にもとても喜ばれました。

また福島県檜原湖の近くに一山買取りキャンプ場も作りました。キャンプ場は、東芝の健康保険組合が契約して保養所として使ってくれました。もちろん、私の工場でも保養所として使いました。

—現在も日本特許診断士協会理事長をされているそうですが？

特許用語が難しいため、途中で申請を断念される方も多いです。そこで、実用新案だけでも簡単にできればと手助けを目的に設立された協会です。全国に約800名の会員がいます。

—60歳でリタイアされましたね

そうです。工場と材料まですべて弟に譲り、自分はリタイアすることにしました。

—リタイアした後はどのように過ごされましたか

地域活動と趣味で過ごしました。発明も続けていました。

趣味は水墨画、篆刻、俳句、ハーモニカなど好きなことをやりました。

60歳から港区で水墨画を習いはじめました。特にだるまを描きたいと思い、水墨画の先生から、だるまばかり描いている和尚さんがいるからと紹介されました。その和尚さんにだるまを習うために、浜松まで車で3時間かけて通いました。そして師に雅号(画家としての名前)として涛心(トウシン)という名を頂きました。涛心とは波の心という意味です。師に物事を荒々しいときには荒々しく、穏やかなと

きには穏やかに受けとめる波の心だと言われました。この名をきっかけに、ゆったりと物事を受けとめられるようになったと感じます。ケンカつばやいところがなくなりました。

戦友が私のだるまの絵をととても気に入ってくれました。彼は、家にだるまの絵を3~4枚飾って毎日眺め、106歳まで元気に長生きしました。だるまという題材は実に奥深いものです。これからも何枚も描き続けていこうと思っています。だるまだけでなく、いろいろな題材の水墨画も描くようになりました。日美展にも入賞しました。

地域の方に水墨画を教えるようになりました。4つの教室を開いていたこともあります。今でも芝浦で月2回水墨画の教室を開いています。15~6名の生徒さんが登録してくれています。

地域活動では、発明特許研究会の主催、みなと区民まつりの委員、高輪地区情報紙のメンバーにもなったことがあります。

—発明について、これからやってみたいことがありますか

小さな船が海で転覆した時、乗員を助ける仕組みを考えています。大体の構想はできています。

(担当/安藤、池井戸、澁谷、長原)



60歳から始めた水墨画。「だるまという題材は奥深く、これからも描き続けたい」と語る



# 大使館訪問

## アイスランド共和国

Republic of Iceland



- 面積： 10.3万平方キロメートル（北海道と四国を合わせた大きさ）
- 人口： 約37万人
- 首都： レイキャビク Reykjavik（北緯65度）
- 言語： アイスランド語、英語
- 宗教： 80%が福音ルーテル派
- 主要産業：観光業、水産業、金属加工（アルミニウム精錬）



Mr. Stefan Haukur Johannesson  
ステファン・ホイクル・ヨハネソン大使

高輪4丁目にあるアイスランド大使館を訪問し、2021年に赴任されたステファン大使にお話をうかがいました。

アイスランドは、ヨーロッパの北大西洋に位置する島国で、国土の11%が氷河に覆われ、多くの火山もあるため、別名「火と氷の国」とも呼ばれています。9世紀ころ、ノルウェーを始めとする北欧バイキング、アイルランドやケルトの人びとが住み着いたのが始まりです。暖流の影響で、緯度の割には比較的温暖で、首都レイキャビクの冬の平均気温はマイナス2度程度です。北極圏に近いので、冬はオーロラを、夏には白夜を楽しむことができます。



雄大な自然が広がっているシンクヴェトリル国立公園（世界遺産）  
（提供：プロモートアイランド社）



ヴァトナヨークトル国立公園（世界遺産） 美しいオーロラのもと、青白く輝く氷塊が浮かんでいるヨークルスアウルロゥン氷河湖  
（提供：プロモートアイランド社）

### 観光のおすすめは何ですか

温泉を利用した温水プールがいくつもあり、特に小さい湖くらいの大きさのある温水プール、ブルーラグーンがとても人気です。

シンクヴェトリル国立公園では、地球の割れ目と言われるギャウ（ユーラシアプレートと北アメリカプレートの割れ目）を見ることができ、とても貴重な場所です。ヴァトナヨークトル国立公園は、400～1,000mの氷河の下に多くの火山があり、火山活動と氷河が形成した独特な景観が楽しめます。

オーロラは、冬の季節に（9月から3月末）見ることができます。

### エネルギー政策先進国として世界から注目を浴びていますね

アイスランドは、温泉が多く、この温泉を利用した暖房設備などが整備されています。国内の電力供給の約70%を水力、30%を地熱発電から得ていて、火力、原子力発電所は一切ありません。

### 世界でもっとも男女平等の国として有名ですね

1975年に、レイキャビクで、女性人口の90%が参加した大規模ストライキがあり、その後1980年には世界初、民主的に選ばれた女性大統領が誕生するなど歴史的快挙がありました。男女同一賃金法、育児休暇制度なども充実し、世界でもっとも子育てしやすい国とも言われています。



世界初の女性大統領  
ヴィグディス・フィンボガドッティル氏  
（By Women's History Archives）

### 産業やお料理に関して教えてください

漁業が盛んで、シシャモ、タラなどの海産物が、日本へも多く輸出されています。

よく食べるものは、魚とラム（羊肉）です。特に羊を自然放牧で育てているのでとても美味しく、アイスランドではラムが一番のご馳走といえるでしょう。この美味しいラム、日本ではオンラインで販売しています。

スキルというヨーグルトに似た乳製品があり、こちらは日本のお店でも売っています。



ブルーラグーン 世界的に有名な温水プール  
（提供：プロモートアイランド社）

### スポーツでは、特にサッカー、ハンドボールが人気ですね

サッカーが盛んで、2018年、サッカーの欧州選手権に初出場したアイスランド代表が、イングランドなどを破って、ベスト8入りしたこともあります。国民約37万人の小国による快挙で、大きなニュースになりました。その強さの理由の一つは、冬場でも練習できる室内サッカーコートがいくつかあることでしょうか。

### 取材を終えて

ステファン大使は、とてもフレンドリーな方で、いろいろ貴重なお話をお聞きすることができました。大使はヘイマエイ島の出身で自然がいっぱいのところで育ったそう。アイスランド大使館は高輪の高台にあり、夜になると品川のビル群の華やかな夜景が見え、故郷とあまりに違うけれど、その近未来の光景が面白く、気に入っているとのことでした。

注：アイスランドでは、国民全員、特にファミリーネームはなく、ファーストネームで呼びあいます。例えば、大使の「Johannesson」は、ヨハネの息子という意味だそうです。



大使のお母様が編んだロビセーター（アイスランド名産の羊毛の手編みセーター）



大使の故郷、ヘイマエイ島 アイスランドで水揚げ第一位を誇る漁場がある  
（提供：アイスランド大使館）



# 区からのお知らせ

## 高輪地区の地域防災支援チームの活動

地域防災支援チームは、高輪地区で防災ボランティアとして活動している任意団体です。港区総合防災訓練（高輪会場）および地域のイベント等で防災啓発ブースを出展することに加え、児童館等で子ども向けに楽しみながら学べる防災啓発を行っています。また、定期的な防災講座の受講や防災に関わる施設見学等を行い、防災知識を高める活動をしています。高輪地区に関わりがあり、活動に興味がある人はお問合せください。

**お問合せ先** 高輪地区総合支所協働推進課協働推進係 電話：03-5421-7621



防災紙芝居の様子（写真左）、防災紙食器づくりの練習の様子（写真右）

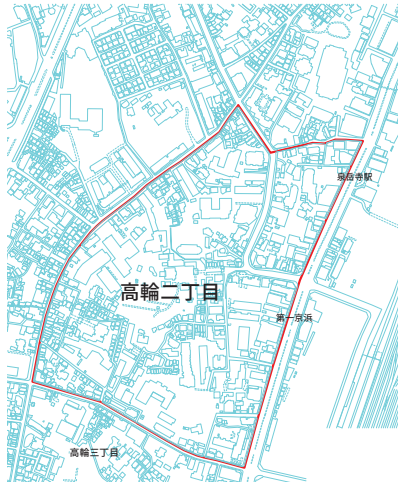
## 登記所備付地図作成作業のお知らせ

東京法務局では、下記作業実施地区において、公共基準点に基づく精度の高い地図（不動産登記法第14条第1項に定める地図）を作成します。地区内の土地の所有者様には、土地の境界確認の立会いなどに、ご理解とご協力をお願いいたします。

**作業実施地区**  
高輪二丁目の一部地区

**作業期間**  
令和4（2022）年9月から令和6（2024）年3月まで  
詳細については、東京法務局ホームページをご覧ください。  
<https://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>

**お問合せ先**  
東京法務局不動産登記部門地図整備室  
電話：03-5213-1414（直通）



## 都税のお知らせ

### 令和4年度の固定資産税・都市計画税の軽減措置についてお知らせします（23区内）

- ①商業地等に対する固定資産税・都市計画税の負担水準の上限引下げ減額措置
  - ②小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置
  - ③小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置
  - ④税額が前年度の1.1倍を超える住宅用地等に対する固定資産税の減額措置
  - ⑤耐震化のための建替え又は改修を行った住宅に対する固定資産税・都市計画税の減免措置については、令和4年度も継続します。（④については令和5年度まで、⑤については令和5年度末まで延長）
- 詳細は、ホームページまたは下記問合せ先へ

**お問合せ先** 港区にある物件について  
港都税事務所 電話：03-5549-3800（代表）

### 耐震化のための建替え又は改修を行った住宅（一定の要件を満たすもの）に対する固定資産税・都市計画税を減免します（23区内）

減免の期間と額は、以下のとおり。

- 建替え**：新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免（居住部分に限る。）。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。
- 改修**：改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。減免を受けるには申請が必要です。詳細は、ホームページまたは下記問合せ先へ。

**お問合せ先** 港区にある物件について  
港都税事務所 電話：03-5549-3800（代表）



## 家計急変世帯に10万円を支給します

～港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業～

### ●申請できる世帯

令和4（2022）年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、令和4年度分の住民税均等割が課されている世帯員全員のそれぞれの年間収入見込額又は年間所得見込額が、住民税均等割非課税相当水準以下の世帯の方

### ●申請方法

対象の方は、申請書類等を郵便でご送付いただきます。申請書類等は港区ホームページでダウンロードが可能のほか、各地区総合支所区民課等でも配布しています。◆申請期限：令和4（2022）年9月30日（金）（消印有効）

### お問合せ先

港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金コールセンター  
電話：0120-352-652  
受付時間：午前8時30分～午後5時まで（土曜、日曜、祝日は除く）



詳細はこちらをご覧ください

## 令和4年度港区総合防災訓練（高輪会場）のお知らせ

令和4年度の港区総合防災訓練（高輪会場）は以下のとおり実施します。初期消火訓練や子ども向けの防災訓練のほか、事業者による普及啓発等を実施する予定ですので、ぜひご参加ください。

- 日程：令和4（2022）年10月23日（日）
- 時間：午前9時30分～11時30分
- 場所：港区立高松中学校



総合防災訓練の様子



高輪地区の情報を広く発信していくため、高輪地区総合支所の公式ツイッターのアカウントを開設しました。高輪地区で開催されるイベントや地域のできごと、防災や環境美化など様々な情報をお届けします。ぜひフォローをよろしくお願いいたします！ ▶@minato\_takanawa



高輪地区総合支所 ツイッター 検索

本紙のバックナンバーは港区ホームページ（高輪地区総合支所のページ）からもご覧になれます。

みなとつづき バックナンバー

## 編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

### 区民編集メンバー

- |               |        |
|---------------|--------|
| 安藤 洋一（チーフ）    | 澁谷 恵子  |
| 吉田 由紀子（サブチーフ） | 滝川 まりえ |
| 阿部 泰          | 長原 眞智子 |
| 池井戸 晴美        | 廣田 由実子 |
| 伊関 則子         | 松島 佐紀子 |
| 小林 由夏         |        |
| 佐々木 智秋        |        |

- ▶人生百年時代と言われていますが、どの瞬間も前向きに全力をつくして過ごす渡邊義信さんの百年の生き方を私も手本にしたいです。（安藤）
- ▶江戸時代の上水道開工の手法と技術には現代に通じるものが多々あるとの解説に触れ改めて驚きを禁じえません。（吉田）
- ▶二本榎通りはちょっとした建設ラッシュ。どんな街になっていくのか。楽しい街にしたいですね。（阿部）
- ▶元気で前向きな渡邊さんの言葉に、私もやる気を分けて頂きました。（池井戸）
- ▶僻地へ追いやられた家康の慧眼こそが、江戸の繁栄につながり、後々、今日の世界都市・東京があることに感銘を受けました。（伊関）
- ▶アイスランド大使館の室内はセンスがよく、素敵な空間でした。窓から見える品川駅のビル群。白金高輪地区の景観も多種多様だと感じました。（小林）
- ▶「西町つなぐ児童遊園」の呼称は、人と人をつなぐ、心と心をつなぐという期待が込められている」と取材で伺えました。再開発で新しい町になっても、西町の素晴らしさが継承されることを祈っています。（佐々木）

- ▶今回の取材でも、この地域ならではの魅力的な場所や情報が沢山あることに驚きました。新たな発見と地元愛が深まるような記事をお届けできればと思います。（澁谷）
- ▶アイスランド、日本よりはるか遠い北の島国が、とても身近な国となり、是非行きたい国の一つになりました。（滝川）
- ▶渡邊義信さんからは、楽に流れようとする自分に、「その時々を真剣に生きなさいよ」と優しく喝を入れて頂いた気がします。（長原）
- ▶上皇・上皇后両陛下が高輪で過ごされた期間の交流エピソードに触れ、改めて温かい気持ちになりました。（廣田）
- ▶1年ぶりに編集委員に復帰し緊張しました。美術館内の撮影は、私には難しく、作品の素晴らしさが撮れているのか。修行不足を痛感しました。（松島）